

平成26年度
事業報告書

公益財団法人 防府市文化振興財団

I 事業総括

防府市文化振興財団は、真に豊かさの実感できる地域社会の形成と進展に寄与することを目的として、「豊かな心の育みと文化の薫りにあふれるまちづくり」を推進する防府市における文化活動の一層の活性化を図り、市民のニーズに応える多様な事業を展開しています。

平成26年度は、防府市公会堂、防府市地域交流センター、防府市青少年科学館、防府市視聴覚ライブラリーの4施設における、平成23年度から平成27年度までの指定管理期間の4年目に当たり、これまでの実績を検証しながら、安心安全を基本に、より利用しやすい施設運営に努めるとともに、それぞれの施設を拠点とした魅力あふれる多彩な事業を企画運営することにより、多くの来場者をお迎えし、防府市の文化振興を図りました。

II 事業概要

公益財団法人として定款の目的にかなった事業を展開するとともに、「防府まちづくりプラン2020」に沿った文化・芸術活動の推進や文化施設のあり方を検討し、4施設がそれぞれの特徴を活かしながら連携して適正な管理運営に取り組みました。

また、収益事業についても、公益目的事業の一層の充実を図るための財源確保や、利用者のサービス向上につながるよう、収入の確保に努めました。

1 文化の創造・発信及び文化活動の支援事業

(1) 鑑賞事業

① 音楽鑑賞事業

本年度は、自主事業9事業9公演、受託事業3事業12公演、合計12事業21公演のクラシックからポップス、伝統芸能、それ以外のジャンルに至るまで多岐にわたる事業を展開し、合計で約1万7千人の方にご参加いただきました。

ア 自主事業

布施明、奥華子、一青窈、ゴスペラーズ、加山雄三、キロロの各コンサートを開催しました。

音楽以外のジャンルでは、林修講演会、特撰東西落語名人会 三遊亭円楽・桂文珍二人会も開催しました。

また、本年で2回目となる全国大会出場記念コンサートを市と共催で開催し、全国大会に出場した小学校から高等学校までの市内吹奏楽3団体がその腕前を市民に披露しました。

イ 受託事業

吹奏楽の街である本市にふさわしい公演として、宮本文昭氏を指揮者に、国内でも有数のプロの吹奏楽団シエナ・ウインド・オーケストラを迎えて、一流の迫力ある演奏を堪能しました。

また、伝統芸能として、源義経の生涯を描いた“義経記”を題材にし、朗読、歌、三味線、能舞でこれを表現した能舞音楽劇「義経記」を開催し、大変な好評を得ることができました。

ウ 防府音楽祭（受託事業）

第14回目を迎えた防府音楽祭は、街の活性化を図るとともに、クラシック音楽をより多くの市民に親しんでもらうため、毎年市民から大変な好評を得ている「オープニング街角コンサート」と称する出張コンサートを、桑陽病院、防府市議会議場など市内の公共・商業施設合計7箇所でおこない、さらにアスピラート市民スペースでは「プロムナードコンサート」を開催し、小さな子ども達から年配の方まで千人を超える市民に、無料で気軽にクラシックの生演奏を楽しんでいただきました。

また、小学校から高等学校までの70人以上の児童・生徒から社会人までが集った「管打楽器公開クリニック」では、特に地方では普段受講することの出来ない一流の演奏家の直接指導を体験してもらうことができました。

「わくわく夢の響演コンサート」は、チェロとすぎやまこういち氏をクローズアップした演目を披露し、ザ・タイガースのヒット曲の数々を防府少年少女合唱団が見事に歌い上げ、会場が一体となる盛り上がりを見せました。

「ファイナルコンサート」では、地元防府天満宮のお膝元にちなみ、組曲「菅公」を創作初演し、会場から割れんばかりの拍手喝采を受け、市民参加型として定着している音楽祭の4日間すべてのプログラムに幕を下ろしました。

この防府音楽祭は、これまでに引き続き(独)日本芸術文化振興会からの高い評価を受けて、その助成を受けて開催しました。

② 美術鑑賞事業

企画展5回と、例年事業の美術鑑賞バス2回を開催しました。

夏休みの親子参加型展事業として、「岡村剛一郎のダンボールアドベンチャーランド：7月28日(月)～8月11日(月)」を開催しました。ダンボールクリエーターによる地元「防府天満宮」のユニークなダンボール作品もあり、約1万5千人もの来場者がありました。

y a b 山口朝日放送との共同企画展「ふるさとの匠たち 第7回腕前探訪～技あり！やまぐち～：9月12日(金)～9月15日(月・祝)」は、地元の職人の技を紹介するイベントとして定着しており、過去最高記録を更新し、4日間で約6,700

人ももの来場者で賑わいました。

「アスピラートでクリスマス2014 冬灯り展:12月6日(土)~12月25日(木)」では、市観光協会の取り組みで、隣接のルルサス防府と当館の2箇所で映像作家による1週間限定のプロジェクションマッピングを行い、1,300人以上もの来館者がありました。

防府市出身で平成25年に急逝した色鉛筆画家 吉村芳生氏の初めての遺作展「吉村芳生展:10月15日(水)~11月3日(月・祝)」を開催しました。これは同氏の意志で開催した個展で、今回発表するために制作途中だった絶筆など初公開の作品も多数展示し、わずか18日間の会期にもかかわらず約1万5千人の来場者がありました。

「渡辺おさむ展 スイーツワンダーランド お菓子の遊園地:1月31日(土)~3月29日(日)」をKRY山口放送と共同で開催しました。この展覧会は山口県出身のフェイク・スイーツ・アーティスト渡辺おさむ氏の作品を「お菓子の遊園地」というテーマで企画展示した、故郷で初の大規模個展で、防府商工高校とのコラボレーショングッズの製作、ほうふ花燃ゆ大河ドラマ館との連携などの各種展開を行い、当財団の美術展としては過去最高の2万人を超える来場者がありました。

この結果、入場者数では本年度開催した企画展がこれまでの上位3位を占め、財団設立以来美術事業として最高の成果が現れた年になりました。

また、恒例となっている美術鑑賞バスは、7月3日(木)に福岡アジア美術館、石橋美術館を、11月19日(水)には九州国立博物館、田川市石炭・歴史博物館を、それぞれバス2台で訪れ、参加希望者多数のため抽選を行うほどの大変な盛況ぶりとなりました。

(2) 育成事業

① 音楽育成事業

子ども合唱教室、弦楽合奏教室、吹奏楽教室、合唱教室、チェンバロ講座を継続事業として年間を通して開催し、幅広い層の市民に歌うこと、楽器を演奏することの醍醐味を堪能していただきました。

② 美術育成事業

現役の小学校の図工担当教諭等が企画並びに指導を行う造形ワークショップ「ゆめあーとひろば」を昨年に引き続き年間6講座開催し、例年同様全講座とも満員の盛況ぶりとなりました。この事業は、(独)国立青少年教育振興機構にその質の高さが認められ、その助成を受けて開催しました。

さらに例年事業のワークショップ「アスピラートで夏休み」は、小中学生を対象に、書道、版画、造形活動、工芸の各体験教室を計5日間、防府市書道連盟等の協力を得て開催し、夏休み中の子どもたちで大変賑わいました。

(3) 普及事業

① 音楽普及事業

防府市出身のチェリスト田中雅弘氏を講師に迎えて音楽セミナー／田中雅弘の音楽旅日記Ⅻ「こどもを音楽家にさせるには？」と、同じく防府市出身のヴィオリスト吉田篤氏を迎えての「ヴィオラを語る～ヴィオリストはロマンチスト！？」の各セミナーを開催し大変な好評を得ました。

(4) 発表・支援事業

① 音楽発表・支援事業

市民参加型の発表会「フェスタ・アスピラート音楽部門」は、出演者38団体466人、来場者は2,000人を超え、県内でも大変珍しい市民参加型イベントとして定着しています。

また、当財団の各育成教室を母体とする防府吹奏楽団、防府弦楽合奏団、防府少年少女合唱団の各定期演奏会、地元出身の作曲家大村能章を記念して開催される「能章まつり」、種田山頭火の生誕を祝い、全国から愛好家が集う「山頭火生誕祭」の開催を支援しました。

② 美術部門

「フェスタ・アスピラート美術部門 なんでも写真コンテストテーマ〈わたしの癒し〉」は市民から111点もの作品の応募があり、全作品をアスピラート市民スペースに展示するとともに、来場者による投票と写真家、協賛者による審査を行い、アスピラート大賞など各賞を決め表彰しました。

(5) 文化施設の管理運営

施設の設置目的に沿ってそれぞれの特徴を活かしながら、市民が利用しやすい施設となるよう努めるとともに、各施設の利用促進を図りました。

① 防府市公会堂

市民の福祉を増進し、生活文化の向上に資するとともに広く集会の場として使用に供するために設置された公会堂は、その目的にかなうよう管理運営に努めました。

ア 施設整備

大ホールにおいては、客席内の均一な音場を得ることに重要な役割を果たすプロセニウムスピーカーから雑音が発生することから修理をおこない、良好な音質が得られるようにしました。また、年末に応接室の窓ガラスが割られる事故がありましたが、警察へ通報し、早急に修繕するとともに、職員による見回りの強化に努めました。

施設全般に発生している経年劣化による不具合については、保守点検業者からの情報収集や職員の日常点検により、予防措置にも気を配り、計画的な維持管理を進めるとともに、防府市と設備更新や大規模修繕に関する情報を共有するよう

心掛けています。

緊急時の対策については、マニュアルに基づいた災害時のお客様の誘導方法や、消防機器の取り扱いについて訓練を行い、危機管理対策の充実に取り組みました。

イ 利用状況

前年度に比べ、利用率、利用人数ともに減少しました。前年度は、吹奏楽コンクールや、これに関連した事前練習、そして、各種団体の記念大会などでホールの利用が増えました。しかし、本年度は、コンクールなどの大きな大会などの会場とならなかったために、利用率が平年並みとなりました。今後は、ホール以外の施設についても利用の拡大を目指し、施設全体の幅広い活用につなげるよう一層努力してまいります。

本年度の利用率は32%、利用人数は60,150人でした。

② 防府市地域交流センター

人の交流と賑わいの創出、本市芸術文化の興隆に資するために設置された地域交流センター アスピラートは、その目的にかなうよう管理運営に努めました。

ア 施設整備

お客様の利便性の向上や安全な施設運営を目指し、各設備機器、備品の修繕、整備に取り組みました。

本年度は、地震で破損した音楽ホールの天井補修、西側の池への安全柵設置、リハーサル室の床張替え修繕、監視カメラの一部更新が防府市によって行われ、お客様の安全面の確保をはかりました。

また、1月には駅前からほうふ花燃ゆ大河ドラマ館へ観客を誘導する役割を担い、防府市により壁面や掲示板に案内表示が設置されました。

施設各所に生じている経年劣化による不具合については、日常点検を慎重に行い、軽微な修繕や改修は職員で行うなど、迅速で的確な対応を心がけました。

大型機器の不具合については、関係部署と情報を共有し事故防止に努めました。

クリスマスシーズンにはイルミネーションとツリーを設置したり、年末年始には市民スペースの照明を夜間点灯し、年明け早々の防府音楽祭を盛り上げるために年始のツリーを設置するなど、駅前の賑わいを演出しました。

イ 利用状況

利用率については、前年度74%を上回り過去最高の80%と高い稼働率となり、利用人数は、134,291人となりました。

内訳は、音楽ホールの利用率71%、リハーサル室83%、展示ホール82%となっています。また控室の利用率は56%でしたが、練習室が86%と高いご利用をいただきました。

7月には、開館以来初めてバックステージツアーを開催し、10組25人の

方々に参加していただきました。通常、立ち入ることのできない機械室の見学や音楽ホールの照明設備の操作を体験していただき、参加者に喜んでいただくことができました。

施設の裏側を見学していただくことで、アスピラートに興味を持っていただく良い機会となり、今後も続けていきたいと思えます。

新規利用者や市内外からの利用者が増加するよう窓口・電話対応や各種案内業務など、ソフト面でのサービス向上にも努め、幅広いジャンルでご利用いただけるように今後も努力してまいります。

2 科学及び科学技術に関する知識の普及・啓発を図る科学館運営事業

平成25年度のソラール開館15周年記念事業に続き、平成26年度も幅広い年代の方が科学の楽しさを体験できるよう、多彩な事業を実施しました。

「やさしく、ふかく、たのしく」をモットーに、地域教育力、学校教育力、博物館力の向上を目指し、創造性豊かな青少年の育成と市民の科学技術への理解の増進を図るよう努めました。

(1) 教育普及事業

① 日常事業

防府市青少年科学館は、太陽の恵みと生命を考える「自然と人間の調和」をメインテーマに、様々な体験を通して、多くの人々が科学や技術に対する興味、関心を深めながら、創造力と科学する心を養う場となるよう事業展開しています。

本年度も、太陽望遠鏡による太陽活動の観測（ガイドツアー）、たのしい工作、サイエンスショーなどを実施し、科学を楽しく学ぶ機会の提供に力を入れました。また、7月には常設展示室がリニューアルされましたので、利用者の疑問や興味にお応えできるよう展示解説を行うなどしました。これらのことから、特別事業を実施していない時期の入館者数は、前年度に比べ28%増加しました。

ア たのしい工作

土・日・祝日に、主に幼児から小学校低学年を対象にした簡単な工作教室を開催し、4,162人の参加がありました。「紙コップとんぼ」など11種類の工作を実施し、科学的な原理、原則を学習できるよう工夫しました。

また、団体でご利用の皆様には別メニューの工作教室を実施し、21団体、674人が参加されました。

イ サイエンスショー

楽しみながら科学への興味を深めるため、土・日・祝日に1日3回サイエンスショーを実施するとともに、平日は学校団体などの要望にもお応えしました。

本年度は、10,616人の参加者があり、前年度の31%増となっております。

ます。

ウ ソラールの科学教室

防府の自然を観察、学習したり、ものづくりを通して科学の奥深さを追及したりする科学教室を実施しました。科学を掘り下げて学べる少人数の講座で、本年度は「サクラの観察」をはじめ合計36講座を開催し、700人の受講者がありました。

② 特別事業

子どもから大人まで幅広い人々が、分かりやすい展示方法や解説により、科学への興味・関心を高めることができる事業を展開しました。巡回展等についても当館オリジナルの展示物を製作し展示することで、より分かりやすく、楽しめる参加型の展示となるよう工夫しました。

ア 「春休み工作教室（後半）」

春休み期間中に、年度をまたいで実施している工作教室です。「のぼるのぼる鯉のぼり」など4日間に6種類の工作を行い、956人の来館者がありました。

イ 企画展「磁石であそぼ！おもしろマグネット展」

「磁石」に焦点を当てた企画展で、単一乾電池1個で60キログラム程度の人までぶら下がることができる「ぶら下がり電磁石」などの体験展示は大変人気が高く、会期中の来館者数は12,930人でした。「磁石」というイメージしやすい展示内容であったこと、子どもが受け入れやすいデザインのチラシやポスターを制作したことなどにより、ご家族での来館が多く、来館者数の増加につながったと考えられます。

5月27日には来館者が1万人を超え、セレモニーを開催して記念品を贈呈しました。

ウ 特別展「未来の科学の夢絵画展」

公益社団法人発明協会が募集する「未来の科学の夢絵画展」を、例年同様に開催し、1,138人の来館者がありました。

会期中、イラストレーターわたなべえつこさんによる「似顔絵教室」も実施し、大変盛り上がりました。

エ 「サイエンスアカデミー」

当館開館以来、夏休みに実施してきました「おもしろサイエンス in ソラール」を引継ぎ、平成25年度から「サイエンスアカデミー」として14日間実施しています。2年目の本年度は、講師に小学校から大学までの先生方、企業の方、他の博物館の方などをお迎えし、幅広い分野の42講座を実施しました。

事前の申込みが必要な講座については、往復ハガキに加えてインターネットからの申込みもできるようになったことから応募総数が増え、来館者数も前年

度より16%多い7,489人となりました。

オ 企画展「3Dゴースト展～幽霊船のヒミツを見破れ～」

「3D」と「ゴースト」がテーマの企画展で、科学的要素とアミューズメント的要素がうまく調和し、会期中29,386人の来館者で賑いました。当館の開館以来、企画展では最高の来館者数となり、入場制限を行うなど待ち時間が発生しましたが、展示室に入る前のロビーで、3Dの歴史、種類、科学的要素などを学ぶことができるよう工夫しました。

8月16日に1万人達成、8月27日に2万人達成のセレモニーを行い、記念品を贈呈しました。

カ 防府市小中学校科学作品展

防府市小・中学校教育研究会理科研修部との共催事業として、市内の小・中学生の夏休みの自由研究・工作から、校内選考で選ばれた優秀作品を毎年展示しております。本年度は、児童・生徒の作品465点を展示し、会期中の来館者は2,071人でした。

キ 企画展「究めて達人！は・か・る展」

科学技術館の巡回展示物に当館オリジナルの展示物などを加え、子どもから大人まで楽しめる企画展としました。

子ども向けの展示としては、「はかる」の基本である「長さ」、「重さ」、「時間」について、「感覚で身近なものをはかるコーナー」を設定したり、パネルにその体験に関係する職人のイラストを取り入れたりして、参加体験型の展示で楽しめる工夫をしました。

会期中の来館者数は6,392人と目標に達しなかったものの、独自性の高い企画展となりました。

ク 「ソラールのクリスマス2014」

来館者が科学に触れるとともにクリスマスを楽しむ場を提供する毎年恒例の特別企画です。

本年度は、「クリスマスメロディボックスを作ろう」をはじめ9種類の工作教室のほか、サンタとトナカイのショー（主にサイエンスショー）、クリスマスコンサート、発明クラブ員やサイエンスFUNクラブの皆様の作品展示などを行いました。会期中は、1,053人の来館者で賑いました。

ケ パネル展「月のふしぎ」

全国科学館連携協議会の巡回展示物に、当館オリジナルの展示物を加え、神秘的な月の姿や詳細な調査によって明らかにされた最新の月の姿などを紹介するパネル展を開催しました。会期中の来館者数は、2,871人でした。

コ 「春休み工作教室（前半）」

春休み期間中に、年度をまたいで実施している工作教室です。「ふしぎなおり紙工作」など5日間に10種類の工作を行い、611人の来館者がありました。

(2) 情報収集保管事業

当館の太陽望遠鏡による太陽観測映像や収集した資料は、学習支援のための学校団体への貸出しや展示など、効果的な活用に努めました。

(3) 啓発調査研究事業

防府の自然や、科学教育、科学技術などに関する調査研究を行うとともに、科学の楽しさを伝えるための教材開発にも取り組みました。

また、サイエンスショーや展示研究に関する研修会にも職員を派遣し、ネットワークの強化や専門職員としての人材育成に努めました。

(4) 学校連携事業及び外部連携事業

① 学校連携事業

小学校への出前事業などを通して、青少年への科学の普及活動を積極的に行いました。

また、学芸員実習をはじめ、インターンシップや職場体験学習による人材育成支援も行いました。本年度は、学芸員実習として山口大学の4年生3名を、インターンシップとして山口東京理科大学の3年生2名を受け入れました。その他、小学校から短大まで8校、20名の職場体験学習を行いました。

② 外部連携事業

博物館や大学、企業、地域の団体と連携し、楽しみながら科学への興味を深めることができる出前事業などを積極的に実施しました。

また、毎年恒例の発明科学教室や宇宙教室、コズミックカレッジを実施するとともに、本年度からスタートした防府市教育“夢”プロジェクト「菅公みらい塾」においても講座を開催しました。

その他、当館を会場として、全国科学館連携協議会の中四国ブロック会議を開催し、サイエンスショーや工作等について2日間の研修を行いました。

(5) 科学教育指導員派遣事業

増加している出前講座の依頼に対応するため、必要な知識や技術をもった当館の元専門員（7名）が科学教育指導員となり、防府市内の公民館や児童館で講座を実施しました。本年度は13回実施し、380人の方に科学の不思議さや楽しさを伝えることができました。

(6) 防府市少年少女発明クラブ

青少年の科学技術に対する夢と創造力を育み、創造性豊かな人間形成を図ることを目的に、当館を活動の場として開設された発明クラブの活動も14年目になりました。ボランティアグループ「サイエンスFUNクラブ」の皆様の多大なお力

をいただき、充実した活動を行っています。

一般社団法人山口県発明協会主催の「2014やまぐち未来の科学の夢絵画展」では、2点が奨励賞、2点が佳作に選ばれました。また、「2014やまぐち発明くふう展」では、1点が奨励賞に入賞しました。

(7) 科学施設の管理運営

① 防府市青少年科学館

市民の科学及び科学技術に関する知識の普及及び啓発を図るとともに、創造性豊かな青少年を育成することを目的として設置された青少年科学館 ソラールは、その設置目的にかなうよう管理運営に努めました。

ア 施設整備・運営

平成26年7月19日から常設展示物の一部をリニューアルしました。新設の展示物は、公益財団法人日本科学協会様から、巡回展示物「光の謎を解き明かせ！」の12点を有償譲渡していただきました。当館のテーマである「太陽」と「光」の関係、また、2015年（平成27年）は「国際光年」ということをふまえて展示物を選定し、「光とは何か?」「見るとはどういうことか?」などを体感的に理解していただける展示物です。

また、科学博物館として、ご来館者への学習機会の提供や、自然・科学へより興味をもっていただけるよう取り組みました。

開館から17年が経過し、各所で老朽化が進んでいるため、小規模な修繕等を継続して行っています。各種設備の点検・修理も定期的に行い、ご来館者に館内外で安全に快適に過ごしていただけるよう、施設の維持管理を行いました。

また、前年度に引き続き、夏の企画展開催中の夏休み期間は、休館日を無くし毎日開館し、多くのお客様にご来場いただきました。

イ 利用状況

平成26年度は71,888人の入館者があり、昨年度に続き7万人を超える入館者数となりました。

8月17日には、開館以来の累計80万人目のご来館者を迎え、セレモニーを行いました。

また、館外普及活動として、市内小学校での出前授業や児童館・公民館の家庭教育学級などへの派遣講座を行い、2,125人の参加をいただきました。入館者及び館外参加者人数は総合計で74,013人になりました。

3 学校教育及び社会教育における視聴覚教育の振興に関する事業

学校教育や社会教育の学習効果を高めるために、視聴覚教材や機材を整備して、市内

の学校など諸教育施設に広く活用していただくことを目標にし、活動をしました。

(1) 視聴覚機材や教材の計画的な充足

平成26年8月27日に運営委員会を開催し、平成25年度の事業報告及び決算について、平成26年度の事業推進状況報告及び予算について、更に平成27年度の事業計画について、ご審議いただきました。

機材は、貸出用として、小規模会場で使用しやすい軽量・小型で、低価格の液晶プロジェクターを1台購入しました。

教材は、「アニメ落語館 3枚組」「金子みすゞ やさしさの風景」「健康なところとからだ 4巻セット」「あさりちゃんと学ぶ地震への備え」、広島の実話をアニメーション化した「よっちゃんのビー玉」など、幼稚園・小学校等の国語、保健、災害、平和教育等でご利用いただける教材を中心に、8点のDVDを購入しました。

また、自主制作教材として、「防府のやきものは いま」を制作しました。防府の産業として栄えてきた窯業の歴史を、映像記録として後世に伝えていく貴重な資料として、貸出、保管を行います。

(2) 視聴覚機材や教材の貸出管理

視聴覚機材を貸出した日数は、1,768日、407件でした。項目別に見ると、例年通り「液晶プロジェクター」と「スクリーン」の割合が高く、これらは昨年度の貸出実績を上回りました。その他の機材の貸出は、概ね減少傾向にあります。今後も利用者に不便をおかけしないよう、機材の保守点検に努めます。

視聴覚教材を貸出した日数は、645日、97件でした。小学校・中学校・官公庁での教材利用の減少により、前年度を大きく下回りました。

(3) 防府市青少年科学館の多目的ホールでのビデオ上映

多目的ホールで、月替わりに、青少年科学館の科学事業の企画目的に沿う教材や、社会見学時期には社会見学に適した教材を上映しました。

(4) 市内小学校あて巡回ビデオの配送

防府市小学校教育研究会視聴覚研修部の先生方が、当ライブラリー保有の視聴覚教材の中から、巡回ビデオ用教材23項目を選定されました。

平成26年6月3日から平成27年3月3日にかけて、市内17小学校で順次ビデオ映画会ができるように、その教材の配送をしました。

(5) ビデオ撮影編集講習会の開催

本年度も、手持ちの機材での撮影から、フリーソフトでの編集などについて、初心者を対象とした3回シリーズの講習会を、9月6日、10月4日、11月15日に開催し、延べ48人が参加しました。講師は、防府映像サークル等から派遣いただきました。

(6) ホームページの充実

ホームページ上での教材目録の検索ページの更新、保守を行いました。

また、本年度の自主制作映像「防府のやきものは いま」を、視聴ページに追加しました。

4 収益事業

チケットの受託販売や、有料駐車場の運営、科学館のショップ運営等により、公益目的事業の財源となる収入の確保を図りました。これらの運営に当たっては、施設利用者への更なるサービス向上につながるよう努めました。

(1) 文化施設の管理運営

企業の展示販売会や会議等、公益目的以外の利用についても施設を貸与し、施設の有効利用とともに、地域振興の拠点となるよう努めました。施設の都合を押し付けることなく、より良い利用方法を提案する等、利用者の立場に立ったサービスが提供できるよう取り組みました。

また、他施設で開催されるイベントのチケットを含めたチケットの受託販売も積極的に行い、お客様の利便性を高めるとともに、収入の確保にも努めました。

(2) 有料駐車場の管理運営

本年度の利用については、公会堂の利用率が平年並みに戻ったことに伴い、前年度の84.8%となり、利用料金収入は3,311,750円となりました。

機器の管理については、専門業者による定期的な点検のほか、日常の目視点検等により、不具合を早期発見するよう努めました。

また、出庫車が精算待ちで並んだ場合は、職員を精算機に配置し、出庫がスムーズに行えるよう配慮する等、安全で利用しやすい運営に努めました。

(3) ミュージアムショップの運営

ミュージアムショップでは、科学館にしかないような科学グッズや実験セットなどの販売を行っています。また、防府市のお土産として入荷している「幸せます」グッズも、引き続き好評です。

各企画展開催中には、それぞれの企画展の内容に合った、科学により興味を持っていただけるような商品への入れ替えを行っています。

Ⅲ 理事会、評議員会

1 理事会

(1) 第1回理事会

- 開催年月日 平成26年5月13日(火)
- 開催場所 防府市公会堂 第5号室
- 決議事項 ①平成25年度事業報告及び決算について
②規程の改正について
③平成26年度第1回評議員会(定時評議員会)の招集について

(2) 第2回理事会

- 開催年月日 平成26年10月7日(火)
- 開催場所 防府市公会堂 第5号室
- 決議事項 ①規程の制定について
②防府市地域交流センター館長の選任について

(3) 第3回理事会

- 決議があったとみなされた日 平成26年11月30日(日)
- 開催方法 決議の省略の方法(定款第37条第1項に基づくみなし決議)
- 決議事項 公益財団法人防府市文化振興財団職員給与規程の改正について

(4) 第4回理事会

- 開催年月日 平成27年2月3日(火)
- 開催場所 防府市公会堂 第5号室
- 決議事項 ①成27年度事業計画書及び収支予算書等について
②規程の改正について
③平成26年度第2回評議員会の招集について

2 評議員会

(1) 第1回評議員会(定時評議員会)

- 開催年月日 平成26年5月28日(水)
- 開催場所 防府市公会堂 第5号室
- 決議事項 ①平成25年度事業報告及び決算について
②監事の選任について

(2) 第2回評議員会

- 開催年月日 平成27年2月17日(火)
- 開催場所 防府市公会堂 第5号室
- 決議事項 平成27年度事業計画書及び収支予算書等について